

## 高校生アートプロジェクト いわき総合高校演劇部豊岡公演『あひる月13』の上演 ～あの震災から3年 日常の一コマを描く～

豊岡市民プラザでは、市民活動と地域文化創造の拠点として、市民参加を基軸としたさまざまな事業を展開しており、高校生を対象としたアートプロジェクトも実施している。

このプロジェクトの一環として、平成24年から3年連続で、東日本大震災の被災地である福島県立いわき総合高校演劇部の豊岡公演を開催する。

### 1 経緯

(1) 東日本大震災と福島第1原子力発電所の事故を体験した演劇部員たちのエチュードを、同部顧問のいしいみちこさんがまとめて構成・脚本にした『Final Fantasy for XI. III. MMXI』は、平成23年、神戸、東京、福岡、文部科学省などで上演され、大きな反響を呼んだ。

(2) その公演を観た豊岡市民プラザの職員がぜひ、地元の高校生に観せたいと、石井さんに交渉し、平成24年8月の豊岡公演が決まった。

本市での公演は、「高校生アートプロジェクト」に位置づけ、準備や当日運営、交流のすべてに、地元高校生が協力した。

(3) 上演から受けた感動、いわき総合高校との交流を糧に、平成25年8月、第二弾『北校舎、はっぴーせっと』豊岡公演を実現した。

(4) 2年間の交流を通じて高校生たちが得たものは大きく、但馬・いわき双方の高校生たちの熱意を受け、本年、震災三部作の第三弾、『あひる月13』の豊岡公演を開催することとなった。



### 2 日時

平成26年8月23日（土）、24日（日） 両日とも午後2時～

### 3 場所

城崎国際アートセンター ホール

### 4 作品

(1) 福島県立いわき総合高校演劇部の生徒たちが、震災から3年経った日常の中で感じたことを作品にしたものであり、等身大のこまやかな問題を丁寧に描いている。

(2) 被災地の今に向き合い、考え、「覚えていたいのになにを忘れていくこと」に取り組んだ作品である。

(3) 2013年度第56回いわき地区高等学校演劇コンクール最優秀賞受賞作品。



## 5 特色

公募で集まった地元高校生がディレクターズ（実行委員会組織）を結成し、交流会の企画や滞在中のサポート、公演本番のスタッフを務め、いわき総合高校生との交流を深める。

※ 第1弾から第3弾まで、高校生が主体的に企画・運営協力

## 6 出演

福島県立いわき総合高校演劇部

〈プロフィール〉

平成16年4月、普通高校から総合学科高校となり、〈人文・国際系列〉〈自然科学系列〉〈スポーツ健康系列〉〈生活福祉系列〉〈芸術・表現系列〉〈情報系列〉の6系列。〈芸術・表現系列〉の中に東北で初めて開講された「演劇」の授業がある。

この授業の目的は、俳優教育ではなく、演劇を通じた人間教育で、人と人とが上手く繋がることを学ぶ。「演劇部」は科目授業とは別の放課後の部活動である。

## 7 入場料

一般 1,000円（当日券は1,200円）、高校生以下 無料 ※ チケット販売中

## 8 主催等

- (1) 主催 豊岡市、豊岡市民プラザ、城崎国際アートセンター、NPO法人プラッツ
- (2) 助成 一般財団法人 地域創造
- (3) 協力 兵庫県高校演劇研究会但馬支部

## 〈参考〉

### 高校生アートプロジェクト

#### 1 目的

- (1) 地方都市で誇りと自信を持って生きる高校生を育てる。
- (2) 表現力やコミュニケーション力を育成し、感性を伸ばす。
- (3) 但馬地域における高校生の文化芸術活動の進展を図る。

#### 2 内容

- (1) 城崎国際芸術夏季大学
- (2) ロックフェスティバル
- (3) 福島県立いわき総合高校演劇部豊岡公演『あひる月13』
- (4) イギリス人コミュニティダンス・アーティストのワークショップ
- (5) 但馬ハイスクールアートフェスティバル

〔問合せ〕 豊岡市地域コミュニティ振興部生涯学習課 TEL 0796-23-0341

事業内容については

豊岡市民プラザ TEL0796-24-3000

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888